

中野区議会議長 市川 みのる 殿



## 要 望 書

我々はJR中野駅駅舎改良計画を含む新北口駅前広場整備計画に関し、中野駅周辺地域の総合的な発展を促すような計画策定を要望致します。

先日、区議会に対し提出されました中野駅地区整備計画案における新北口駅前広場の構想案(A案・B案・C案・参考案)を拝見いたしました。我々4団体商店街関係者間の現段階における一致した意見としまして、A・B・C三案につきまして反対の意志を明確にしたいと思っております。中野駅周辺を中野通り・JR等の線路によりブロック化して考えますと、警察大学跡地を含むブロック、北口のサンモール・ブロードウェイを含むブロック、南口の丸井・サンロード中野桃商会を含むブロック、中野駅南口広場、千光前通り、中野南口駅前商店街を含むブロックの4ブロックに分けて考えることができると思いますが、このA・B・C3案を見ると、中野区の提案は、警察大学跡地のブロック地域に重点が置かれているとしか思えません。そもそも中野区という行政機関がJRという大企業に駅舎の改良を要請するようなプロジェクトには、その周辺地域が総合的に発展するような立案をすべきであり、一部地域に偏重するような構想案は受け入れ難いと考えざるを得ません。しかし、【参考案】につきましては以上の文脈からご理解頂けると思いますが、我々としては検討対象として議論の俎上に載せていただくことに吝かではございません。勿論当4団体におきましても、主体的に議論を展開していく上で当然独自案の提示をしていく積りでございます。長年中野の街で生活し、経済活動をしている商業者・住民にも明るい未来を望めるような血の通った整備案を策定していただくために、我々も努力し積極的に意見の具申をさせて頂きたいと思っております。云うまでもないことですが、駅舎改良による改札口の位置変更という問題はJR東日本の領域ではありますが、人の動線に多大な影響を与えるものでありそれだけで街の繁栄を大きく左右する一大関心事でございます。こうした重要なプロジェクトを推進していく上で、中野区は勿論のこと、商店街や住民が参加する協議会のようなものを是非発足させて頂きたいと思っております。我々は中野区に先駆けて、漸次的に現在の4商店街だけでなく更に近隣住民にも参加を促し広範な議論の場を育成させていきたいと思っております。

街としての特性が喪失していく今日、整備案を構築するにあたり、出来るだけ多くの区民が後悔をしなくてすむような計画を策定するよう強く要望いたします。

平成 19 年 10 月 15 日

中野サンモール商店街振興組合

理事長 大月 浩司郎



中野ブロードウェイ商店街振興組合

理事長 青木 武



サンロード中野桃商会

会長 松田 暉治



中野南口駅前商店街

会長 阿形

